

観測部月報

★

東亞天文協會

★ 流星課だより (104)

課長 小槇孝二郎

七月に入ると、流星数は著しく増加する。夜の観測はらくになるので、この機会に、課員は勿論、一般會員の方々の観測を希望する。さて、七月に活動する主なる流星群は、

- 上 旬 ペガス α 流星群 ($\alpha=343^\circ$ $\delta=+12^\circ$)
- 中 旬 白鳥座 ζ 流星群 ($\alpha=317$ $\delta=+31$) 速
- 中旬以後 ペルセウス流星群 ($\alpha=15 \rightarrow 32$ $\delta=+49 \rightarrow +54$)
- 下 旬 水瓶座 δ 流星群 ($\alpha=335 \rightarrow 343$ $\delta=-19 \rightarrow -16$) 顯著
- 下 旬 山羊座 α 流星群 ($\alpha=303$ $\delta=-10$)
- 下 旬 カシオペア β 流星群 ($\alpha=355$ $\delta=+59$) 微光

等であるが、下旬の諸流星群は、下弦の月に観測を妨害されることを覺悟せねばならぬ。月末から八月にかけて、観測条件はよくなるが。

× × × × ×

二月以來、流星観測冬眠期（事實は立春をすぎて春なのであるが）か？、流星の報告は殆んどない。四月の琴座流星群についても、未だ消息がない。去る四月26日夜牧夫座及北冠座附近から若干の流星が放射するのが見られた。

(1940—4—28)

附記 目下、1934年以來吉井耕一氏が撮影せられた流星寫眞を整理研究中であるが、完了までは尙二〜三ヶ月を要すると思ふ。流星總數86個中、肉眼観測の記録を伴ふもの51個である。

★ 變 星 課

往年のエキスパートの観測報告が近頃は減少し、新進の輩出もボツボツと云ふ所で、観測が散漫になりがちですが、“特定の星”を叮嚀に見様ではないかと、の木邊課長より提案がありましたので、長週期變光星の幾個かを各人が分擔したいと思ひます。どうせ長週期の星は極大極小、延いては週期の變動等を見出すのが重なる目的でありますから、左様に制限した方がいゝのではないかと、思ひます。課員の御意見を聴取したいと存じます。

滿洲支部の河合孝一氏より前月號發表の長週期變光星の目録、同氏編集、小

山秋雄氏訂正のものを発行したしとの提案がありました。いづれ後日滿洲支部より發行となる筈です。こゝに 同氏の御好意と 小澤氏の 御勞苦に 感謝致します。又、河合氏は今後當課の爲め大いに御盡力下さる筈であります。今月の報告者下の通りであります。

小 澤 喜 一 32星 觀測 181回
岡 林 滋 樹 16星 " 44回

本年後半期のアルゴル極小日(世界時で)

七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
日 時	日 時	日 時	日 時	日 時	日 時
3 10.2	1 02.3	1 15.2	3 04.1	3 17.1	2 09.2
6 07.0	3 23.1	4 12.0	6 00.9	6 13.9	5 06.0
9 03.8	6 19.9	7 08.8	8 21.7	9 10.7	8 02.8
12 00.6	9 16.7	10 05.6	11 18.6	12 07.5	10 23.7
14 21.5	12 13.5	13 02.4	14 15.4	15 04.3	13 20.5
17 18.3	15 10.3	15 23.3	17 12.2	18 01.1	16 17.3
20 15.1	18 07.2	18 20.1	20 09.0	20 21.9	19 14.1
23 11.9	21 04.0	21 16.9	23 05.8	23 18.8	22 10.9
26 08.7	24 00.8	24 13.7	26 02.6	26 15.6	25 07.8
29 05.5	26 21.6	27 10.5	28 23.4	29 12.4	28 04.6
	29 18.4	30 07.3	31 20.2		31 01.4

★ 黃道光課 鹿兒島の坂上務氏より、去る四月27日の夕刻の觀測報告を受け取つた。(山本)

★ 太 陽 課 (1940年 4月)

報告者 15名。そのうち新報告者は

竹 内 潤 君 32mm 屈折 × 50 大阪市天王寺區
富田弘一郎君 40 " × 32 東京市世田谷區

上記二君を御紹介します。兩君の御精勵と御永續をお願いします。

全員でとらへても27日が雨の爲め缺測になつた。三月下旬の大黒點が一日夜西沒してからずつと靜穩な太陽面であつた。月の前半は概して南半球が活動し後半は北半球が活動した。16日朝子午線を通過した群(南11°)は今月では最も活動した群であつた。7, 13, 15日には北半球には一群の黒點も見られなかつた。今月は新群30群を觀測し北半球18群, 南半球12群であつた。(以上, 瀬戸觀測所)

例月通り沓掛, 津留, 阿部, 正村諸氏よりの新群の緯度報告を受けてゐる。

(本田)

太陽黑點相對數報告 (1940年4月)

觀測者 (觀測地)	富田弘一郎 (東京市世田谷區)	小石久太郎 (東京市神田區)	國分英德 (東京市立一中)	阿部正明 (東京市池袋)	堀田泰生 (橫濱市鶴見區)	沓掛七二 (長野縣青木村)	大石辰次 (靜岡縣吉永村)	正村一忠 (岐阜市溝旗町)	木邊成磨 (滋賀縣中里村)	竹内潤 (大阪市天王寺區)	南時生 (大阪市明星商業)	來田晃 (大阪市大正區)	谷口裕康 (神戸市森谷區)	岡林滋樹 (倉敷天文臺)	本田實 (瀨戶觀測所)	津留繁雄 (熊本市本莊町)	坂上務 (福岡市大名町)
口徑 mm	40	58	100	28	20	102	55	25	75	32	25	50	40	75	75	130	42
倍率	32	64	45	45	50	75	64	48	60	50	54	53	50	60	60	45	64
方法	直	直	投	投	直投	直投	直	直	直	直	直	直	直	投	投	投	投
1	曇	雨	缺	缺	曇	78	曇	曇	曇	缺	66		81	缺	86	雨	旅
2	56	71	76	雨	83	雨	60	雨	雨	40	82		58	雨	75	雨	雨
3	76	65	雨	缺	93	雨	57	雨	雨	25	101		61	缺	73	雨	雨
4	雨	雨	缺	缺	86	雨	69	雨	雨	雨	72		37	雨	71	雨	雨
5	雨	雨	缺	缺	雨	缺	曇	雨	雨	缺	83		69	雨	78	雨	雨
6	雨	雨	缺	缺	缺	曇	69	雨	雨	缺	59		83	雨	67	雨	雨
7	雨	雨	缺	缺	曇	69	69	雨	雨	缺	87		46	雨	68	雨	雨
8	雨	雨	缺	缺	74	雨	57	雨	雨	缺	59		34	雨	73	雨	雨
9	雨	雨	缺	缺	68	雨	47	雨	雨	缺	62		45	雨	83	雨	雨
10	雨	雨	缺	缺	83	雨	47	雨	雨	缺	79		76	雨	50	雨	雨
11	雨	雨	缺	缺	55	雨	53	雨	雨	缺	64		缺	雨	51	雨	雨
12	雨	雨	缺	缺	76	雨	61	雨	雨	缺	64		缺	雨	40	雨	雨
13	雨	雨	缺	缺	65	雨	52	雨	雨	缺	26		缺	雨	45	雨	雨
14	雨	雨	缺	缺	曇	48	雨	雨	雨	缺	82		74	雨	84	雨	雨
15	雨	雨	缺	缺	76	雨	73	雨	雨	缺	72		76	雨	75	雨	雨
16	雨	雨	缺	缺	96	雨	84	雨	雨	缺	64		92	雨	73	雨	雨
17	雨	雨	缺	缺	88	雨	65	雨	雨	缺	69		73	雨	50	雨	雨
18	雨	雨	缺	缺	74	雨	67	雨	雨	缺	56		缺	雨	44	雨	雨
19	雨	雨	缺	缺	69	雨	100	雨	雨	缺	86		56	雨	99	雨	雨
20	雨	雨	缺	缺	69	雨	曇	缺	缺	缺	106		缺	雨	109	雨	雨
21	雨	雨	缺	缺	88	雨	80	雨	雨	缺	81		69	雨	64	雨	雨
22	雨	雨	缺	缺	100	雨	55	雨	雨	缺	79		曇	雨	120	雨	雨
23	雨	雨	缺	缺	88	雨	61	雨	雨	缺	64		55	雨	96	雨	雨
24	雨	雨	缺	缺	51	雨	63	雨	雨	缺	49		缺	雨	117	雨	雨
25	雨	雨	缺	缺	65	雨	57	雨	雨	缺			22	雨	97	雨	雨
26	雨	雨	缺	缺	48	雨	40	雨	雨	缺	27		缺	雨	77	雨	雨
27	雨	雨	缺	缺	66	雨	33	雨	雨	缺	26		23	雨	48	雨	雨
28	雨	雨	缺	缺	38	雨	24	雨	雨	缺	13		26	雨	36	雨	雨
29	雨	雨	缺	缺	24	雨	26	雨	雨	缺	38		26	雨	24	雨	雨
30	雨	雨	缺	缺	23	雨	37	雨	雨	缺	16		24	雨	24	雨	雨
觀測日數	19	17	17	17	9	17	15	20	14	13	18	23	19	22	26	11	
一日平均	78	59	59	77		66	54	57	71	39	69		54	50	79	70	
前月平均	79	94	99		80	60	69	103			75		74	70	89	68	